



平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月2日

上場会社名 三国コカ・コーラボトリング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2572 URL <http://www.mikuni-ccbc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 椎名 幹芳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO常務執行役員 (氏名) 伊藤 正樹 (TEL) 048-774-3131
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績 (平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	25,807	4.8	△213	—	△399	—	△377	—
23年12月期第1四半期	24,622	△3.2	△72	—	△419	—	△446	—

(注) 包括利益 24年12月期第1四半期 △305百万円(—%) 23年12月期第1四半期 △461百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	△7.81	—
23年12月期第1四半期	△9.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	78,396	64,134	81.8
23年12月期	81,987	65,019	79.3

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 64,134百万円 23年12月期 65,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	12.00	—	12.00	24.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想 (平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	55,600	2.2	1,200	△18.3	1,000	20.6	500	62.4	10.36
通期	122,000	1.9	4,600	9.8	4,500	23.8	2,500	34.3	51.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期 1 Q	53,555,732株	23年12月期	53,555,732株
② 期末自己株式数	24年12月期 1 Q	5,270,694株	23年12月期	5,270,694株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期 1 Q	48,285,038株	23年12月期 1 Q	48,285,518株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の影響が残る中、復興需要などが内需を支え、長引く円高の一方で輸出関連産業も持ち直しの兆しが見えはじめ、緩やかに回復しはじめました。一方、原油高や電力不足懸念及び値上げなどが今後どのように経済に影響を及ぼすのか依然として不透明感は払拭できていない状況が続いております。

清涼飲料業界では、販売数量は5%程度増加したと思われませんが、販売価格競争の激化による単価の下落は続いており、収益を圧迫する非常に厳しい状況で推移しております。

そのような状況の中、当社グループは「夢に向かって進化するNo. 1ボトラー」をビジョンとする中期経営構想「**CHANGE³**」(チェンジ・チェンジ・チェンジ)の最終年として、これまでの活動の結果を形とする年と位置づけ、改革・改善活動に取り組んでおります。

営業活動としては、「ジョージア 冬季プロモーション」「爽健美茶全国プロモーション」などを実施し既存製品のマーケットにおける活性化に注力いたしました。また3月19日には、南米で昔から親しまれ、飲みやすく後味がすっきりとしたお茶「太陽のマテ茶」を発売し「ラテン・バイオリズムでいこう!」をテーマに無糖茶市場にこれまで無かった製品で新たな顧客獲得による売上、利益、シェアの拡大を目指しております。また注力課題であるSCM改革につきましては関係会社のコカ・コーライーストジャパンプロダクツ株式会社と協働し、製造から販売までの全工程を見直し、当社グループの主力である清涼飲料事業で継続的に利益を生み出し続ける体制を強化しております。

以上のような取り組みを実施いたしましたが、価格競争の激化による単価下落の影響などもあり、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は258億7百万円(前年同期比4.8%増)、営業損失は2億13百万円(前年同期は72百万円の営業損失)、経常損失は3億99百万円(前年同期は4億19百万円の経常損失)、四半期純損失は3億77百万円(前年同期は4億46百万円の四半期純損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて57億59百万円減少し344億97百万円となりました。これは主として、現金及び預金が38億17百万円、受取手形及び売掛金が9億45百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べて21億68百万円増加し438億99百万円となりました。これは主に有形固定資産が23億35百万円増加し、投資その他の資産が1億36百万円減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は前連結会計年度末に比べて26億55百万円減少し121億2百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が13億58百万円、未払法人税等が10億48百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べて49百万円減少し21億59百万円となりました。これはその他のリース債務が65百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は前連結会計年度末に比べて8億85百万円減少し641億34百万円となりました。これは主に利益剰余金が9億56百万円減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ38億17百万円減少し92億44百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローについては、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは2億56百万円の支出となりました。これは主に減価償却費11億80百万円や売上債権の減少額9億45百万円等の収入の一方、仕入債務の減少額13億55百万円、法人税等の支払額11億42百万円等の支出によるものであります。

なお、前第1四半期連結累計期間と比較すると9億56百万円の収入減となりました。これは売上債権の増減に伴う収入の減少が主要因となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは29億16百万円の支出となりました。これは固定資産の取得による支出28億67百万円等によるものであります。

なお、前第1四半期連結累計期間と比較すると、16億86百万円(前年同期比137.2%)の支出増となりました。これは固定資産の取得による支出の増加が主要因となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは6億45百万円の支出となりました。これは主に配当金の支払額5億79百万円等によるものであります。

なお、前第1四半期連結累計期間と比較すると、1百万円(前年同期比0.2%)の支出減となりました。これはリース債務の返済による支出の減少が主要因となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しについては、景気の下振れ懸念や電力の問題、また清涼飲料業界の最盛期である夏季の天候などがどのように当社グループに影響するのか予断を許さない状況が続くと思われませんが、現時点では平成24年2月14日に公表いたしました平成24年12月期の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,583	9,765
受取手形及び売掛金	8,018	7,072
商品及び製品	4,725	3,827
原材料及び貯蔵品	259	275
未収入金	2,266	2,025
預け金	10,000	10,000
その他	1,421	1,546
貸倒引当金	△18	△16
流動資産合計	40,257	34,497
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,442	9,144
機械装置及び運搬具（純額）	1,364	1,338
販売機器（純額）	8,748	9,282
土地	8,961	10,361
その他（純額）	1,981	1,707
有形固定資産合計	29,499	31,834
無形固定資産	641	611
投資その他の資産		
投資有価証券	8,435	8,306
その他	3,265	3,259
貸倒引当金	△77	△79
投資損失引当金	△33	△33
投資その他の資産合計	11,590	11,453
固定資産合計	41,730	43,899
資産合計	81,987	78,396

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,577	5,218
未払費用	4,399	3,458
未払法人税等	1,153	105
賞与引当金	642	539
役員賞与引当金	43	12
その他	1,940	2,767
流動負債合計	14,758	12,102
固定負債		
役員退職引当金	3	3
従業員長期未払金	986	993
資産除去債務	569	570
その他	650	591
固定負債合計	2,209	2,159
負債合計	16,967	14,262
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,407	5,407
資本剰余金	5,357	5,357
利益剰余金	60,116	59,159
自己株式	△5,760	△5,760
株主資本合計	65,122	64,165
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△98	△36
繰延ヘッジ損益	△3	5
その他の包括利益累計額合計	△102	△30
純資産合計	65,019	64,134
負債純資産合計	81,987	78,396

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
売上高	24,622	25,807
売上原価	14,894	15,890
売上総利益	9,728	9,916
販売費及び一般管理費	9,800	10,130
営業損失(△)	△72	△213
営業外収益		
受取利息	45	35
受取配当金	2	3
為替差益	0	46
雑収入	18	9
営業外収益合計	66	94
営業外費用		
支払利息	11	9
固定資産処分損	61	44
持分法による投資損失	329	195
雑損失	11	29
営業外費用合計	414	280
経常損失(△)	△419	△399
特別利益		
固定資産売却益	6	—
貸倒引当金戻入額	8	—
収用補償金	764	—
特別利益合計	779	—
特別損失		
固定資産除却損	18	38
減損損失	28	—
投資有価証券評価損	—	15
災害による損失	195	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	498	—
事務所解体費用	130	—
特別損失合計	870	53
税金等調整前四半期純損失(△)	△511	△453
法人税、住民税及び事業税	78	127
法人税等調整額	△143	△203
法人税等合計	△65	△75
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△446	△377
四半期純損失(△)	△446	△377

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△446	△377
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21	62
繰延ヘッジ損益	6	9
為替換算調整勘定	—	—
持分法適用会社に対する持分相当額	—	—
その他の包括利益合計	△14	71
四半期包括利益	△461	△305
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△461	△305
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△511	△453
減価償却費	1,223	1,180
減損損失	28	—
固定資産処分損益(△は益)	80	83
固定資産売却損益(△は益)	△6	—
役員退職引当金の増減額(△は減少)	△9	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△18	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△336	△103
投資有価証券評価損益(△は益)	—	15
受取利息及び受取配当金	△48	△38
支払利息	11	9
為替差損益(△は益)	△0	△46
持分法による投資損益(△は益)	329	195
災害損失	195	—
収用補償金	△764	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	498	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,870	945
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,094	881
前渡金の増減額(△は増加)	—	1
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,193	△1,355
長期未払金の増減額(△は減少)	1	△0
従業員長期未払金の増減額(△は減少)	5	7
その他	665	△469
小計	2,115	855
利息及び配当金の受取額	75	40
利息の支払額	△11	△9
法人税等の支払額	△1,479	△1,142
営業活動によるキャッシュ・フロー	699	△256
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	100	—
固定資産の取得による支出	△1,910	△2,867
固定資産の売却による収入	7	4
投資有価証券の取得による支出	△8	△501
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	500
事業譲渡による収入	15	—
収用補償金の受取による収入	555	—
貸付金の増減額(△は増加)	△4	△60
その他	15	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,229	△2,916

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△67	△65
配当金の支払額	△579	△579
自己株式の取得による支出	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△646	△645
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,176	△3,817
現金及び現金同等物の期首残高	9,474	13,062
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,298	9,244

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、清涼飲料の製造・販売を主な事業内容としており、報告セグメントは清涼飲料事業の単一セグメントとなっております。また、その他の事業の重要性が乏しいためセグメント情報の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。